

地域の安心・安全 お山保育園が避難所

本市は、社会福祉法人お山保育園と、保育園の施設や駐車場を避難所として使用させてもらう協定を結びました。保育園は、見能林町の阿南中学校近くの山の中腹に位置し、施設2棟や約300台が駐車できるスペースが整備されています。10月28日に現地で行われた調印式で、理事長の森岡稔人さんは、「保育園を地域住民の安心・安全に役立ててほしい」とあいさつされました。



まずは知ろう！体のこと、病気のこと 健康講演会を開催

10月20日、文化会館であなん健康まつりの健康講演会「心臓病の予防と治療」が行われ、約550人が参加しました。国立循環器病研究センター理事長 小川久雄さん（阿南市出身）を講師として招きました。心臓病を中心とした心臓血管病について難しい内容ながら、図と平易な言葉で分かりやすく症状や対処法などをご紹介いただきました。

“命の道”となる高速道路の 早期完成を求める！！

「四国横断自動車道と阿南芸芸自動車道」の早期完成を求める「未知フォーラム2019 in 阿南」が11月2日、コスモホールで開催され、約550人が参加しました。パネル討論では、阿南医療センターの玉置俊晃院長が、「医療体制の充実や医師の確保には、高道道路の整備が不可欠である」と訴えました。また大会メッセージを満場一致で採択し、四国未来宣言で氣勢をあげました。（主催：四国はひとつ 阿波の道”女性フォーラム）



人口1人当たりの所得 8年連続県内1位

徳島県から「平成28年度市町村民経済計算推計結果」が公表され、阿南市の人口1人当たりの市町村民所得は3,689千円で県内最高となり、平成21年から8年連続1位に輝きました。

技術立国の卵たち ロボット製作を競う

高専の学生がロボット製作の技術を競う「全国高等専門学校ロボットコンテスト2019四国地区大会」が11月3日、阿南高専で開催され、6校から12チームが参加しました。課題は「洗濯物干し」で、参加者は自作した2台のロボットを操って、物干し竿にタオルなどを掛けて競いました。阿南高専2年の曾我井天信さんは、「チーム一丸となって取り組んだ。来年も挑戦したい」と話しました。



f 阿南市フェイスブック 阿南市や地域の出来事をいち早くチェック！
市ホームページからご覧いただけます。
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>

News Oasis

要配慮者の避難 実践的に学ぶ



災害時での要配慮者の避難や車いす援助方法を学ぶセミナーが10月20日、市庁舎あなんフォーラムで開催され、約100人が参加しました（主催：徳島県肢体不自由児者父母の会連合会、共催：阿南市）。徳島文理大学保健福祉学部教授 柳澤幸夫さん指導のもと、参加者は実際に車いすに乗ったり介助したりしながら、経路に設置された段差やじゃり、がれきなどの障がい物を通り、避難する方法を学びました。母親の介護をしているという重金健司さん（55歳）は、「災害時に避難させる技術を身に付けたいと参加した。車いすに乗ってみて、初めて気付く点が多かった。車いすに乗って避難していると不安な気持ちになる。介助者からの声掛けが必要だと感じた」と話していました。

阿南市より4人選出 都道府県対抗中学バレーボール大会

第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に出場する徳島県代表選手に、阿南中学校3年生の写真左から橋本隼利さん、広瀬逸葵さん、今川權杏さん、長坂海月さんが選ばれました。今川さんは、「大きな声を出し、みんなでパスをつないで得点したい」と意気込みを語りました。なお、大会は12月25日～28日に大阪市で開催されます。



自然を生かす 大正大学生が地域実習



地域創生の方策を学ぶため、本市で地域実習を行っている大正大学生12人が10月15日、新野町で阿南高専准教授の大田直友さんを招いて、まちづくりについて考えました。大田さんは、本市での自然の保全や利活用の仕組みづくりなどを紹介。福島晴夏さん（3年）は、「自然を生かした交流・関係人口の増加が、地域おこしにつながると感じた」と話していました。

的確な避難 電柱広告板に避難所表示

本市は、株式会社アクセル徳島と株式会社井内の間で、「広告付防災標識看板に関する協定」を締結しました。電柱に設置する広告板に最寄りの避難所名や距離などを記載し、市民などの迅速で的確な避難行動へとつなげます。広告板は縦150cm、横33cm。10月17日に行われた調印式で、株式会社アクセル徳島代表取締役の仁志吉宏さんは、「命を守る行動に役立つよう努力したい」とあいさつされました。

